

平成26年度（2014年度）日本留学試験

日本語

(125分)

I 試験全体に関する注意

1. 係員の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
2. この問題冊子を持ち帰ることはできません。

II 問題冊子に関する注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
2. 試験開始の合図があったら、下の欄に、受験番号と名前を、受験票と同じように記入してください。
3. 問題は、記述・読解・聽読解・聴解の四つの部分に分かれています。
それぞれの問題は、以下のページにあります。

	ページ
記述	1～3
読解	5～31
聽読解	33～47
聴解	49～52

4. 各部分の解答は、指示にしたがって始めてください。指示されていない部分を開いてはいけません。
5. 足りないページがあったら手をあげて知らせてください。
6. 問題冊子には、メモなどを書いてもいいです。

III 解答用紙に関する注意

1. 解答は、解答用紙に鉛筆（H B）で記入してください。
2. 記述の解答は、記述用の解答用紙に日本語で書いてください。
読解・聽読解・聴解の問題には、その解答を記入する行の番号 **1**、
2、**3**、…がついています。解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
3. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

※ 試験開始の合図があったら、必ず受験番号と名前を記入してください。

受験番号			*				*					
名前												

記述問題

以下の二つのテーマのうち、どちらか一つを選んで 400～500字程度で書いてください
(句読点を含む)。

- ① 多くの人は、成功を良いもの、失敗を悪いものと考えて、失敗することを恐れます。
しかし、失敗は本当に悪いものなのでしょうか。
「失敗は悪いものだ」という考えに対する*反論を、例を挙げながら具体的に述べなさい。
- ② 現代社会では効率性が重視され、様々なことが、少ない労力で短時間に行われています。しかし、何よりもまず、効率性を追い求めるのは、本当に良いことなのでしょうか。
「効率性を追い求めるのは、何よりも良いことだ」という考えに対する*反論を、例を挙げながら具体的に述べなさい。

*反論：相手の考え方に対して、「それは必ずしも正しいとは限らない」と主張する意見

———— このページには問題はありません。————

読解問題

説明

読解問題は、問題冊子に書かれていることを読んで答えてください。

選択肢1. 2. 3. 4の中から答えを一つだけ選び、読解の解答欄にマークしてください。

I 次の文章で、筆者がフィンランドの経験から考えた「ボランティア」とはどんなことですか。

1

先日、フィンランドでさりげないボランティアを受けた。ぼくらはフィンランドの森を散策し、町を歩いて回っていた。列車に乗り、ある駅で降りたいと考えていたときのことだ。残念ながら列車のアナウンスに英語はなく、それらしき駅名を聞きつけてはここで降りるべきかと迷っていた。降りかけて、間違っていることに気付いてあわてて乗りなおした。途方に暮れていると隣の席に座っていたご婦人が、英語で「次の駅ですよ」と教えてくれた。ぼくらに特に注意している様子も見せなかつたが、さりげなく気にしてくれている。「ありがとう」と言ってその駅で降りた。

…（略）…

「これってボランティアだよなあ」とぼくらは話し合った。それは特別な誰かがするものではなくて、誰もが困ってそうな人がいるなら気にかけてくれる。そしてさりげなく「手伝いましょうか？」と手を差し伸べる。「ただ今、観光大使が観光案内ボランティアを実施中です」みたいなものではない。誰もがふと手を差し伸べるのだ。

（田中優『幸せを届けるボランティア 不幸を招くボランティア』河出書房新社）

1. 特別な人が仕事として行うこと
2. 外国人に対して親切にするよう心がけること
3. 誰もが嫌がることを無償で行うこと
4. 困っている人を自然に助けること

II 次の文章は、田中先生が、演習の受講生に送ったメールです。先生が、来週の演習までにしておくように言っていることはどれですか。

2

演習を受講しているみなさんへ、

来週の演習ですが、少し内容を変更します。

昨年、私がアメリカの大学を訪れた際にお世話になったスミス教授が、来週、来日するという連絡を受けました。私の演習に参加してくださるとのことですので、来週の演習は、スミス教授を交えて行いたいと思います。

スミス教授は多文化社会の社会心理がご専門で、その分野の第一人者です。これまで演習でスミス教授の著書を読んできましたので、みなさんにも興味や疑問があることだと思います。せっかくの機会ですから、スミス教授への質問を考えてきてください。

当日は、まずスミス教授に講演していただき、その後、英語で質疑応答を行いたいと思います。もし英語に不安があればその場で私に言ってください。私が通訳をします。

では、みなさん、来週をお楽しみに。

田中一郎

1. スミス教授の著書を読んでおくこと
2. 演習で勉強したことの疑問点を受講者同士で話し合っておくこと
3. 質問したい内容を考えておくこと
4. 質問する内容を前もって田中先生に伝えておくこと

III

試験問題として成立していますが、
出版上の都合により本問題の掲載はいたしません。

IV 次の文章で、筆者がどこかに出掛ける際に最も大切にしていることはどれですか。

4

なぜ出掛けるのか、あるいは出掛けたいと思っているのか。それは、まだ見ぬものへの強い興味に他ならない。出掛けていった地で出会ったものに対し、自分はどのような思いを抱き、そして受け止めることができるのだろう。この感覚とそこでの思いが、私に人との拡がりを与えてくれるのだ。

ところで、いろいろなところに出掛けていって思うことは、当然ながら多種多様な考え方や習慣があるということである。その場に行くと、とても居心地が良くて、そのまま居着いてしまいたいような場所もあれば、できるだけ早く、その場から立ち去りたいと思う場所だってある。このように様々な場所が存在するわけで、もちろん、^{すべて}全てを受け入れているわけではない。経験的に大嫌いなところだって現に存在しているのだ。しかしここで心がけていることがある。「自分はなぜそれを受け入れることができないのか?」と考えることである。さらに言えば、受け入れることができる対象にも同じ考察と検証が必要だ。ただ行って見てただけでは意味がない。つまり、既存する自分の感覚野にはない新しい世界観に出会った時、それを分析して理解すること。…(略)…このことなくして人との拡がりは生まれない。

(藤木庸介「環境デザイン」)

桑田政美編「観光デザイン学の創造」世界思想社)

1. 好きな場所でも嫌いな場所でも自分の抱いた感覚について分析すること
2. できるだけ多くの人と出会い、人脈を広げること
3. 嫌いな場所からは一刻も早く立ち去り、嫌な思い出をつくらないこと
4. 多種多様な考え方や習慣を好き嫌いなしに受け入れること

V 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

5

好きなことをして生きるには、まず自分の好きなことを見つけなければなりません。

…（略）…

最近は、親がなんでも与えてしまうので、なにかを好きになるという意欲が育たないのです。たとえば、子どもにピアノを習わせている家庭も多い。しかし、子どもが自分から「ピアノを習いたい」と言う前に、小さいときから習わせないとピアノはモノにならないと聞いて、やらせてしまう。しかし、たいていは子どものほうがもういやだと言ってやめてしまうか、受験勉強のため中断してしまう。そういう話をよく聞きます。

欲しいと思う前に与えられてしまうから、子どもに欲求が育たないです。親が先回りして与えては、ダメです。飢餓感があって、子どものほうから「あれがしたい」「これがしたい」という気持にならないと、なんでも長続きしないものです。

（木田元『哲学は人生の役に立つか』PHP研究所）

1. 子どもは小さいころに親から与えられたことが、好きになるものだ。
2. 子どもにはなんでも与えるのではなく、一つのことだけを与えるべきだ。
3. 子ども自身が望む前に親が与えると、何かをやりたいという意欲が育たない。
4. 子どもの状況が変わっても、やってきたことを途中でやめさせないほうがいい。

VI 次の文章で、筆者が最も言いたいことはどれですか。

6

その時々でいちばん目立つ研究、大事だと言われている分野に参入すれば、研究費も集めやすいし、成果を出せれば注目される。しかしみんなが大事だと思っていたことが見当違ひだった例は、自然界、とくに生命の世界にはいくらでもある。大事だと誰も言っていないことだって、漏らさずに研究すべきで、それによって研究の裾野^{がれ}がひろがり、人類の知的財産^{すそ}が豊かになってゆく。その中のどれかが、ある日、美しい蝶^{ちょう}に羽化するのだ。生物の多様性が地球の未来に重要であるように、研究分野の多様性も人類の未来に重要な話題になっている研究、流行している研究などにあわてて参入しなくてよい。

(笠井献一『科学者の卵たちに贈る言葉』岩波書店)

1. 多くの人々に価値が認められている研究をするのが望ましい。
2. 研究者として、研究費の獲得を軽視すべきではない。
3. 注目されていない分野の研究もとても大切だ。
4. 話題になっている研究なら、あわてずじっくり取り組むべきだ。

VII 次の文章の心理実験において、繰り返し同じ文を読むとどうなると述べていますか。

7

大学生に対して、ある心理実験を行った。被験者となる学生には、「大学生の一般的知識を調べる新テスト」の作成に協力してほしいと依頼し、いくつかの文を提示して、それぞれの文の内容が正しいか、間違っているか、またはわからないか、というように判断してもらった。このテストを、同じ学生に対して、2週間おきに3回行った。3回とも繰り返して提示された文もあったが、学生にはそのことを伝えなかった。

この実験の目的は、実は、大学生の一般的知識を調べるのではなく、文の正しさの判断に対して、その文を繰り返し提示することがどのように影響しているかを調べることにあった。実験の結果、文の内容が実際に正しいか間違っているかに関係なく、テストを受けるたびに、繰り返し提示された文は正しいと見なされるようになっていくことが明らかになった。

つまり、人は同じ情報を何度も繰り返し与えられると、だいにその内容に疑いを持たなくなり、それが真実であると思うようになりやすいということである。

(E. B. ゼックミスタ他著 宮元博章他訳『クリティカル シンキング《実践篇》』
北大路書房 を参考に作成)

1. その文がずっと記憶に残るようになる。
2. その文の内容が正しいと思うようになる。
3. その文の内容に疑問を持つようになる。
4. その文の内容の真偽を確かめたくなる。

VIII 次の文章に続く A で述べられる内容として、最も適当なものはどれですか。8

生物はほかの生物を食べることで生きている。そのため、ひとつの生物が増えたり減ったりすると、その生物を食べたり、その生物に食べられたりする生物も増減する。例えば、ウサギと、それを餌とするヤマネコがいる。ウサギの数が増えると、それを食べるヤマネコが増える。ヤマネコが増加すると、ウサギは餌としてたくさん食べられるようになり、減る。ウサギが減ると、それを食べるヤマネコも減る。ヤマネコが減ると、今度はウサギが増える。そうやって、両者の個体数は周期的に変動していくのだ。

それでは、今度はキツネとそれに食べられるネズミについて考えてみよう。この原理に基づくと、キツネが増えた場合、A。

1. ネズミが増え、その後、キツネも増える
2. ネズミが増え、その後、キツネが減る
3. ネズミが減り、その後、キツネが増える
4. ネズミが減り、その後、キツネも減る

IX 次の文章で、筆者は、免疫力を高めるためにどうしたらよいと言っていますか。

9

病気にかかりやすい人は腸内細菌に問題があるという。現代人は抗菌・除菌グッズに囲まれて生活し清潔にしがちで、逆に、体を守ってくれる腸内細菌まで殺してしまっているのだ。だから病気になりやすい。菌に強い人と弱い人の違いは、腸内細菌の多い少ないに関係しているという。子どもは部屋に閉じこもらせないで、外で遊ばせたほうがいい。無菌状態化しているからアレルギーなどの問題が生じるので、むしろ菌を体にすまわせた方がいいということらしい。細菌の種類や数が多いほど免疫力が高まり、人間の免疫力は様々な細菌と共生することで活性化するという。

また、野菜類、穀類、豆類、果物類などの植物性食品は免疫力を高めてくれるので、魚や肉とよく組み合わせてバランスのよい食事を心がけることが大事だ。さらに、エアコンなどによって内と外との温度差が大きい状態は、体温の調節が大変で、それによって免疫力が落ちるのだと専門家は指摘している。

1. 細菌を排除しすぎないようにする。
2. 清潔に生活することを心がける。
3. 魚や肉を多く摂るようにする。
4. エアコンで室内の温度を一定に保つ。

X 次の文章の内容と合っているものはどれですか。

10

私たちは、毎夜床について眠り、数時間の意識の断絶の後に目ざめている。意識の断絶があるのに、目ざめたときの自分は、何時間か前に眠った自分の連続であることを信じて疑わない。連続という精神活動の具現の姿である。

ところが、幼稚園で、前日の日まできれいに咲いていたチューリップの花が次の日の朝散ってしまったので、先生は園児を集めて、「ほら、きのう咲いていたチューリップが、こんなに散ったでしょう」と話しかけても、園児はなんの反応も示さない。そのはずで、園児にとっては、きのう咲いていたチューリップはきのうのチューリップ、きょう散っているチューリップはきょうのチューリップであって、きのうのチューリップがきょう散ったということが体得できないのである。

(時実利彦『人間であること』岩波書店)

1. 大人はいつも現在という瞬間だけを意識している。
2. 子供は連続した時間を意識することができる。
3. 大人は現在を時間の流れの中でとらえることができる。
4. 子供は昨日のことと今日のことをつなげて考えられる。

このページには問題はありません。
次のページに進んでください。

XI 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

「前に進む勇気」を持てといいますと「バカいっちゃいけないよ、経営者だからいつも前に進むことだけを考えてるよ」と答えが返ってきます。

しかしここでいっている「前に進む勇気」とは、そういう意味ではありません。

自分の経験のないことであっても、消費者がそれを求めていると感じたら、今までの仕事から新しい仕事へ切り替えて進む、すなわち営業内容を変更して進む勇気＝思い切りをいっているのです。

たとえば和装小物で営業してきたならば、カジュアルショップに切り替えるなど、時代の変化に応じて業種や手段を変えることを指していますが、これは過去に経験がないことが多く、理屈でわかっていてもなかなか踏み出すことができません。しかし、この勇気を持たないと、トキの流れに取り残されてしまうのです。

2009年の春、東京23区の下町商店街で目撃しました。

800メートルほどの商店街に8店舗も携帯電話ショップがあるのです。5～6年前ならば抵抗感を持ちませんが、なにやら異様な感じを受けました。

ITブームに乗って携帯電話が普及した時に携帯ショップを立ち上げた。しかし景気の後退とともに一時の勢いがなくなってしまったといいます。

この8店舗がその時、営業を続けていることが不思議でした。2時間ばかり様子を見ていたのですが、どの店にも一人の客も入らなかったからです。

余力のあるうちに早く手段を変えてもらいたいと余計なお世話が頭をよぎりました。

(鈴木健介『ダメな商店街を活性化する8つのポイント』同友館)

問1 下線部「異様な感じを受けました」と述べられていますが、それはどうしてですか。

11

1. 携帯電話の需要が減っているのに、携帯電話ショップの店舗数が多いから
2. 携帯電話が普及しているのに、携帯電話ショップに客がいなかったから
3. 商店街にあった携帯電話ショップの営業方針が変わっていたから
4. 商店街にあった携帯電話ショップが姿を消していたから

問2 この文章で筆者が薦めていることはどれですか。

12

1. ビジネスではまず経験を積むことが大事だ。
2. ビジネスは社会の情勢に合わせて切り替えが必要だ。
3. ビジネスは常に新しいことにチャレンジすべきだ。
4. 景気後退時であっても他のビジネスに手を出すべきではない。

XII 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

林の中や縁に生える植物は、光を少しでも多く受けることができるよう、限られた光がくる方向に葉を向けています。光のくる方向に葉を直角に向けることで、より多くの光が受けられるからです。

マイヅルテンナンショウのように葉が1枚しかない植物では、その観察が容易です。マイヅルテンナンショウは河畔の落葉樹林の中では、株ごとに葉を傾けている向きが異なります。その場所でもっともよく光を受けられる方向を探り、それにあわせて葉を傾けているからです。その方向とは、上方の葉の層のすきま、つまり多少なりとも空が見え、そこから光が漏れてくる方向のことです。

光が限られている場所では、そのように葉を積極的に光に向ける同じ植物が、太陽の光を遮るものがまったくない明るい場所では、強すぎる光を避ける反応をみせます。光が強すぎて葉にエネルギーが過剰になると、組織が障害を受けるだけでなく、葉が温まりすぎて正常な代謝を営めなくなるからです。葉にとっては強すぎる光を避けるための工夫も重要です。…（略）…

動くことのできない植物ですが、暗いところでは光を少しでも多く受けるように、明るすぎる場所では光を避けるように、葉を傾けたり向きを変えたりたんたり、光に対して積極的に反応しているのです。

（驚谷いづみ他『Nature Discovery Books 葉っぱの不思議な力』山と渓谷社）

問1 下線部「その観察」とは、何を観察することですか。

13

1. 葉の数
2. 葉の成長の速さ
3. 葉の向き
4. 葉の形状

問2 この文章で述べられている林の中の植物には、どのような特徴がありますか。

14

1. 葉に光を多く受けるように茎や枝を伸ばす。
2. 光の多い場所に生える。
3. 光を多く受けるように大きな葉をつける。
4. 葉に受ける光の量を調節している。

XIII 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

現代社会を形容する視点はさまざまだが、人との関わりから見れば、モノの氾濫^{はんらん}も含め情報過多の社会に変化したということである。ある特定の領域に詳しい人々が、その分野の知見を深め、やがてそれがスタンダードになる。かつてはその領域に属する人々だけに限られていた情報が、メディアの発達によって誰^{だれ}にでも触れられる情報になった。望むと望まざるとにかかわらず、それらの情報が一方的に入ってくる。こうした現象があらゆる領域で起きているのだから、当然人々は日々増え続ける情報にさらされることになる。

一方、人の変わらない部分とは何だろうか。おそらくそれは、情報処理能力である。人は外部から情報を取り入れ、すでに蓄積された情報、すなわち経験や知識、記憶などと照らし合わせて分析し、行動を決める。情報処理は人が生きていく上での基本であるが、同時に脳の基本的な機能であるとも言える。確かに情報処理に必要な経験や知識は増えたのだが、脳の情報処理機能そのものが変わったわけではない。人の脳は数万年という時間をかけて、現在のような基本的機能を進化させてきた。脳機能が、社会の変化ほど急激に変わることはないのである。事実、ヒトの脳の基本的機能が変化したという話は聞かない。

情報過多という大きな変化と変わらない脳機能の間で、混乱し疲弊しているのが現代人であると言えるのではないだろうか。

(清家洋二『決められない!』筑摩書房)

問1 下線部「そうした現象」の意味として、最も適当なものはどれですか。

15

1. メディアが発達して人の情報処理能力が高まる現象
2. 特定の領域に詳しい専門家が増え続ける現象
3. 一部の人々が社会全体に影響を与える現象
4. 専門的な情報が一般の人々のもとに大量に入ってくる現象

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

16

1. 情報過多の社会に合わせて、人は情報処理能力を高めている。
2. 現代社会は情報過多になったが、人の情報処理能力は変化していない。
3. 経験や知識が増えれば、それに応じて脳の情報処理機能も進化する。
4. 外部から取り入れた情報に多く触れるほど、行動が決めやすくなる。

XIV 次の文章は幼児の保育について述べたものです。読んで、後の問い合わせに答えなさい。

- ① 人間は、相互関係の中で生きており、外界に働きかけ、確かめ、そのことを通して理解をしっかりととしたものとし、認識を深める面を見落としてはならない。その中でも、人的環境としての人間関係もまた、豊かな応答性をもつことが大切である。たとえば、保育者が幼児に対して、何をどのように行うべきかを一方的に指示し、幼児はそれに対して従順に従っている関係は決して応答的関係とはいえない。保育者と幼児が生活を共にする中で、活動を選び出し、子どもの興味を肌で感じ、保育者の思いを子どもに伝え、共に生活を作り上げていくときそこに応答的環境が成立しているといえよう。
- ② 人的関係だけでなく、物的環境もまた応答的であることが望まれる。ただ見るだけであったり、精巧にできっていて、壊さないよう気を遣いながらのおもちゃなどは、応答的環境とは呼びえない。たたいてみて、出る音を楽しんだり、分解して内部の様子を知ったり、いろいろなものを組み立てて、自分たちの気に入った基地を作り上げたりといった、働きかけ、その結果を確かめたり、それを使って遊んだりできることが大切である。

(林信二郎「環境を通しての教育」「幼児の教育と保育」放送大学教育振興会)

問1 第2段落（②）は、第1段落（①）に対してどのような関係にありますか。 17

1. 第1段落で述べた原因による結果について述べている。
2. 第1段落の内容から予想されることと逆のことを述べている。
3. 第1段落で述べたものと同じ特徴を持つ他の例について述べている。
4. 第1段落で述べた抽象的なことについて、具体的に述べている。

問2 筆者によると、子どもにとってよい環境とは何ですか。 18

1. 保育者の指示通りに遊ぶことのできる環境
2. 保育者に守られながら安全に活動できる環境
3. 保育者からの干渉がなく、自由に活動できる環境
4. 人や物と子どもが、互いに反応しあう環境

XV 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

ふつう、集団で暮らすサルのオス同士には、たがいの力関係で決まる序列がありますが、ゴリラにはありません。ゴリラのグループには、ぼくらが「核オス」と呼んでいるリーダーの*シルバーバックこそいますが、オスの間に序列はありません。

だから、ゴリラという動物は、たとえ争いを起こしても、力の強さや年齢や性別によって負けるということがありません。勝者も敗者も作らないのです。そういう「負けない構え」をゴリラは持っているのです。

もちろん、ゴリラもケンカをすることもあります。以前、…（略）…シルバーバック同士が一触即発の状態になったことがあります。二頭がにらみあって戦いがはじまると思ったそのとき、子どもゴリラたちが両方にしがみついて止めに入りました。どちらか一方に加勢をするのではなくて、みんなで二頭を引き離そうとしたのです。シルバーバックも、自分より年下のゴリラやメスのゴリラに仲裁をされれば、引き下がるほかありません。

ニホンザルは、ケンカがはじまれば、群れのほかのメンバーがどちらかに加勢をして、はっきり勝負をつけさせますが、ゴリラはむしろ仲裁を期待しているような節さえあります。自分には不満がある、納得していないということを表すために、戦う姿勢は見せる。でも、そうやって自己主張をすれば、とりあえず不満は解消するのでしょうか。だから、仲裁が入れば、それ以上は争わないのです。

（山極寿一『15歳の寺子屋 ゴリラは語る』講談社）

*シルバーバック：背中が灰色になっている大人のオスゴリラ

問1 ゴリラ同士で争いが起こりそうなときはどうなりますか。

19

1. ほかのゴリラが止めに入る。
2. それぞれの味方になるゴリラが現れる。
3. オスのゴリラだけが集まってくる。
4. メスや子どものゴリラがその場から逃げる。

問2 オスのゴリラが争う姿勢を見せる理由として、本文の内容と合っているものはどれですか。

20

1. 多くの仲間を得るため
2. リーダーに自分の力を見せるため
3. 自分がリーダーだと主張するため
4. 不満があるということを示すため

XVI 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

居間という呼び名を文字通り解釈すれば，“そこに居るための部屋”であり、リビング・ルームは“生活する部屋”である。それじゃあ、料理している時は台所に“居ない”のか、寝室で寝ている時は“生活していない”のか、と言えばもちろんそんなことはない。しかし逆に、居間とはなんのための部屋か、と問い合わせると、一言で答えるのは難しい。居間は“料理する”とか、“寝る”という風に分節化し得る生活行為のための場所ではないからだ。…（略）…

住宅の歴史を豊穴住居まで遡って考えると、はじめにすべての生活行為が一部屋で行なわれた住居があって、そこから調理、睡眠などの、それ自身としての分かれやすい行為のための部屋が次々と分離していき、その後に残った行為すべてを引き受けているのが居間なのだとえよう。後に残ったのは、分節化され得ない行為の複合体だから、一言で名づけようがないのが当然だ。

（渡辺武信『住まい方の思想』中央公論社）

問1 下線部「分節化し得る」とは、ここではどのような意味に使われていますか。

21

1. 行う者によって区別できる
2. 行う目的によって区別できる
3. 使う頻度によって区別できる
4. 使う時間の長さによって区別できる

問2 この文章の内容と合っているものはどれですか。

22

1. 居間は、現在も生活上のすべての行為が行われる部屋である。
2. 居間は、呼び名において役割がはっきり表れている。
3. 居間は、特定の役割を持たない部屋である。
4. 居間は、もともと生活行為の場所ではなかった。

XVII 次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

夕暮れの町中にあっても充分その存在が視認され、不慮の事故を防ぐように、クレーン、ブルドーザー、掘削機など建設機械の車体色には、長期にわたり、イエローやオレンジが慣用色として使用されていた。ほとんど鉄のかたまりで重装備の機械は、可動部分もあり、危険や注意のメッセージを付加することが絶対条件であった。各社競合し^{しの}*凌ぎをけざるなかで、限定された色域のなかから建機イエロー^{あざん}や建機オレンジをデザインした経験がある。

バブル全盛期、これらの既成概念を払拭^{ふっしょく}するように、市街の工事現場に**バイオレットの建設機械が突如として出現した。この新奇なるカラーデザインが、これを操作するオペレーターのファッション感覚や嗜好^{しこう}に妙に同調しているのに気づき、啞然とした。使用する周辺環境への安全配慮より、トレンドに同調する販売戦略に重心を据えることをおおいに疑問に思い、過剰になりがちな色彩デザインのむずかしさをあらためて感じた。

色彩の見せ方は、大別すれば、機能色としてのサイン的役割と、情緒色としてのイメージ表象的役割がある。前者はわかりやすさを重視し、視認性や判別性に配慮した交通標識やサインデザインなどの例である。世界共通に規定されている安全色彩は、赤は防火・禁止・停止を意味し、黄には注意が、また緑には安全・救護・進行などのメッセージがこめられている。…（略）…

これに対して後者は、人間の行動に直接に働きかける指示色ではなく、さまざまなイメージを表象する精神的、心理的な要素である。条件に応じて、ナチュラル感や楽しさ、開放感などの雰囲気づくりや、魅力の演出に効果的なデザインがなされる。

…（略）…

色彩の二つの役割の明確な使い分けによって、生活の合理性や快適性は確保できるのである。

（尾登誠一『色彩楽のすすめ』岩波書店）

*凌ぎをけざる：激しく争うこと

**バイオレット：むらさき色

問1 筆者は、下線部「バイオレットの建設機械」について、どのように考えましたか。

23

1. 建設機械の色を運転者好みに合わせることは、新鮮な発想でよい。
2. 今までの建設機械は色が限定されていたが、これからは自由に選べるのでよい。
3. 人のファッショニズムは多様なので、建設機械の色を人に合わせるのはむずかしい。
4. 建設機械の安全性よりもファッショニズムを重視しており、賛成できない。

問2 この文章で述べられている「情緒色」の使用例として、最も適当なものはどれですか。

24

1. トイレの入り口の絵が、男性は黒や青、女性は赤で描かれていることが多い。
2. あるホテルでは高級感を与えるため、内装を暗い色で統一している。
3. 「頭上注意」のはり紙の文字を黒から赤に変えたら、頭をぶつける人が減った。
4. 夜外出するときは、明るい色の服を着ると、車の運転者から見えやすくなる。

問3 この文章の内容と合っているものはどれですか。

25

1. 色には二つの重要な役割があり、目的に応じてそれをうまく利用するとよい。
2. 安全を重視すべきところで、機能色ではなく情緒色を使っても問題はない。
3. 色にはそれぞれ意味があるが、人によってその意味の受け取り方が異なる。
4. 実利的に使えるという面で、機能色の方が情緒色よりも重視される傾向にある。

———— このページには問題はありません。————

聴読解問題

説明

聴読解問題は、問題冊子に書かれていることを見ながら、音声を聴いて答える問題です。

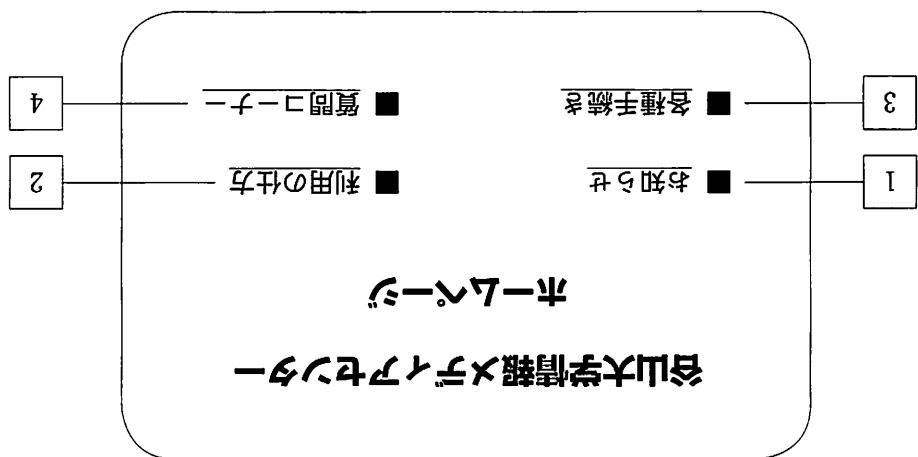
問題は一度しか聴けません。

それぞれの問題の最初に、「ポン」という音が流れます。これは、「これから問題が始まります」という合図です。

問題の音声の後、「ポン」という、最初の音より少し低い音が流れます。これは、「問題はこれで終わりです。解答を始めてください」という合図です。

選択肢 1, 2, 3, 4 の中から答えを一つだけ選び、聴読解の解答欄にマークしてください。

1番の前に、一度、練習をします。



④項目名選択肢(複数選択可)
学生がどの画面を見たかで、学生の説明を聞くことができます。学生は今、画面の

練習

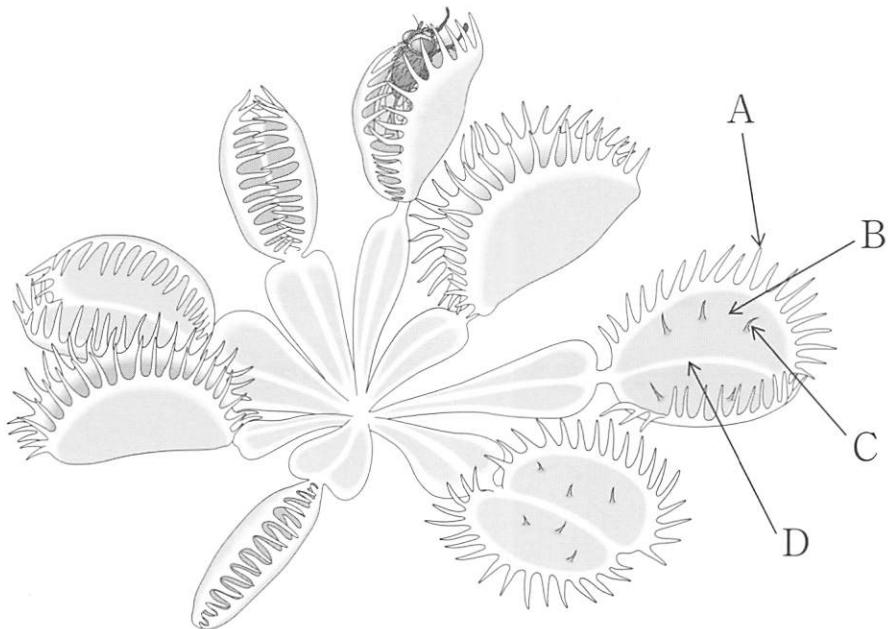
確認問題

1番

先生が、ハエトリグサという植物について話しています。この先生の話によると、ハエトリグサは図のどの部分で、えさとなる昆虫の大きさを識別していますか。

1

ハエトリグサ



(ダニエル・チャモヴィッツ著 矢野真千子訳『植物はここまで知っている』

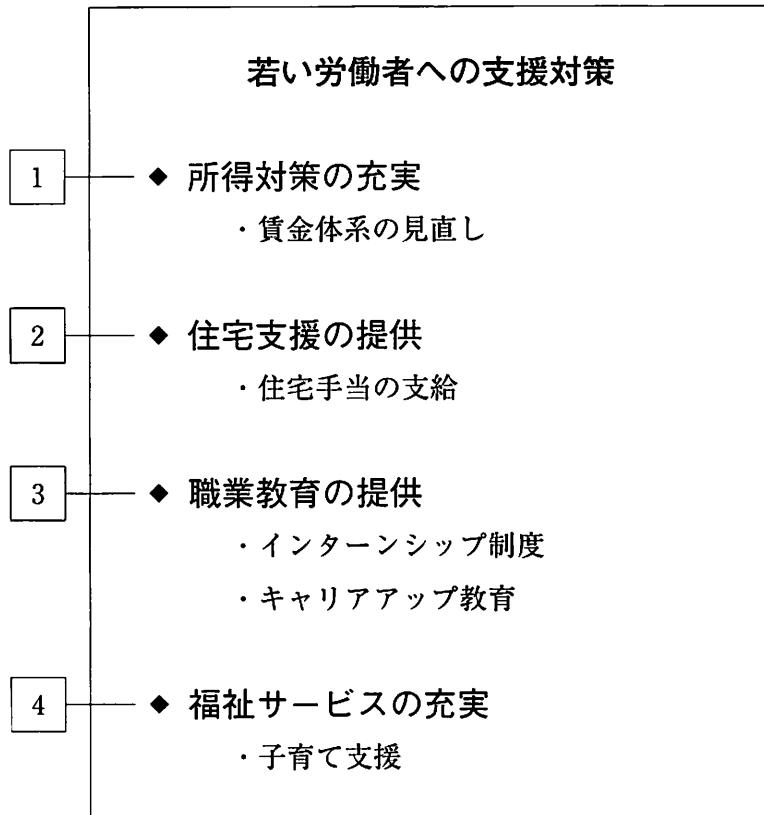
河出書房新社 を参考に作成)

1. A
2. B
3. C
4. D

2番

先生が、若い労働者に対する支援策について説明しています。この先生がこのあと具体的に説明するのは、どの対策についてですか。

2

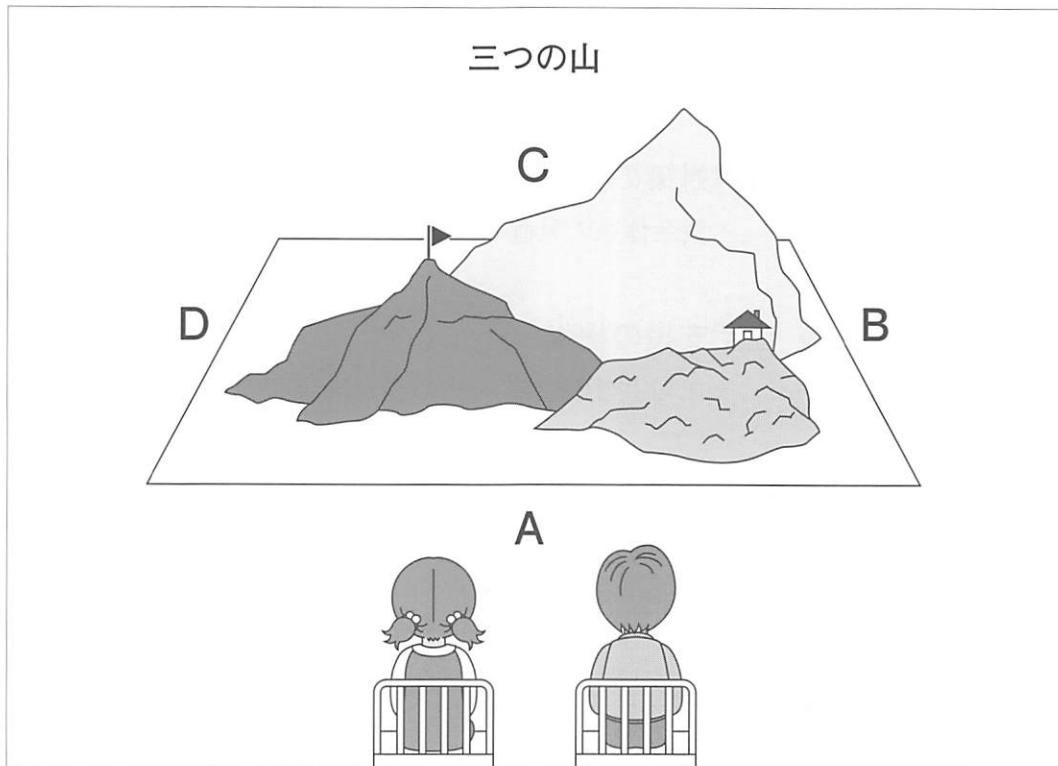


(白波瀬佐和子『生き方の不平等』岩波書店 を参考に作成)

3 番

先生が、子供のものの見方の発達について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

3



(Piaget, J. et al. *La représentation de l'espace chez l'enfant*. Press universitaires de france.

および 鎌原雅彦他『やさしい教育心理学』有斐閣 を参考に作成)

1. Aから見える風景の絵
2. Bから見える風景の絵
3. Cから見える風景の絵
4. Dから見える風景の絵

4番

女子学生と男子学生が、サークル交流会のプログラムについて相談しています。この二人は、プログラムのどの部分を短くすることにしましたか。

4

サークル交流会 プログラム (案)

日時：○○○○年○月○日 16:00～19:30

場所：学生ホール

参加サークル数：20

プログラム：

1	開会のあいさつ	交流会実行委員長	16:00～16:05
2	サークルメンバー紹介	交流会実行委員	16:05～17:00
3	前年度活動報告	各サークル代表	17:00～17:30
4	今年度活動予定	各サークル代表	17:30～18:00
	パーティー（立食形式）		18:00～19:20
4	閉会のあいさつ	交流会実行委員長	19:20～19:30

5番

先生が、食品の保存方法について話しています。この先生がこれから具体的に話すと言っているのは、表のどの方法についてですか。

5

食品の保存方法と効果

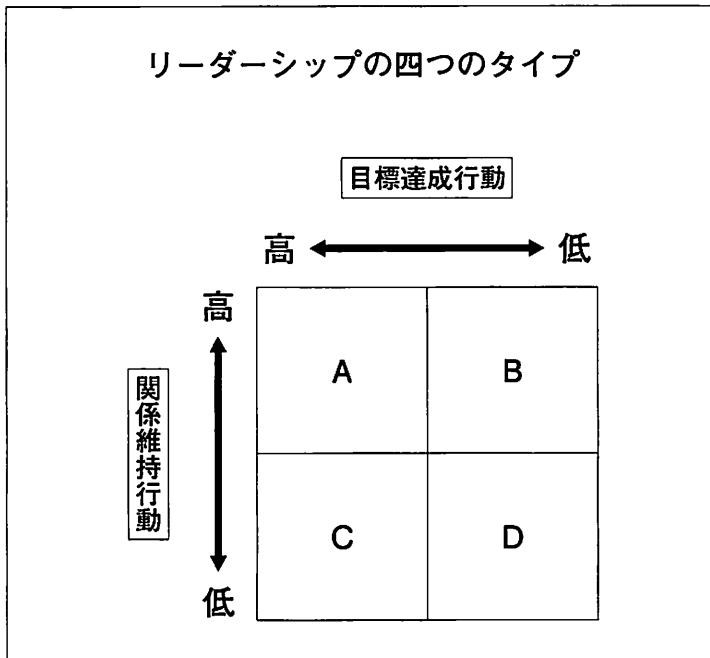
	保存方法	効果
1	乾燥させる	水分が少ないので、微生物が繁殖しない
2	塩または砂糖で漬ける	浸透圧が高いので、微生物が繁殖しない
3	全体に灰をつける	強いアルカリ性により、微生物が生育できない
4	発酵させる	発酵微生物が、他の微生物の侵入を防ぐ
	煙でいぶす	煙が、微生物の侵入・生育・増殖を防止する
	葉で包む	葉が、微生物の増殖を防止する

(小泉武夫『すごい和食』KKベストセラーズ を参考に作成)

6番

社会心理学の授業で、先生がリーダーの四つのタイプについて説明しています。この先生の質問に対する答えはどれですか。

6



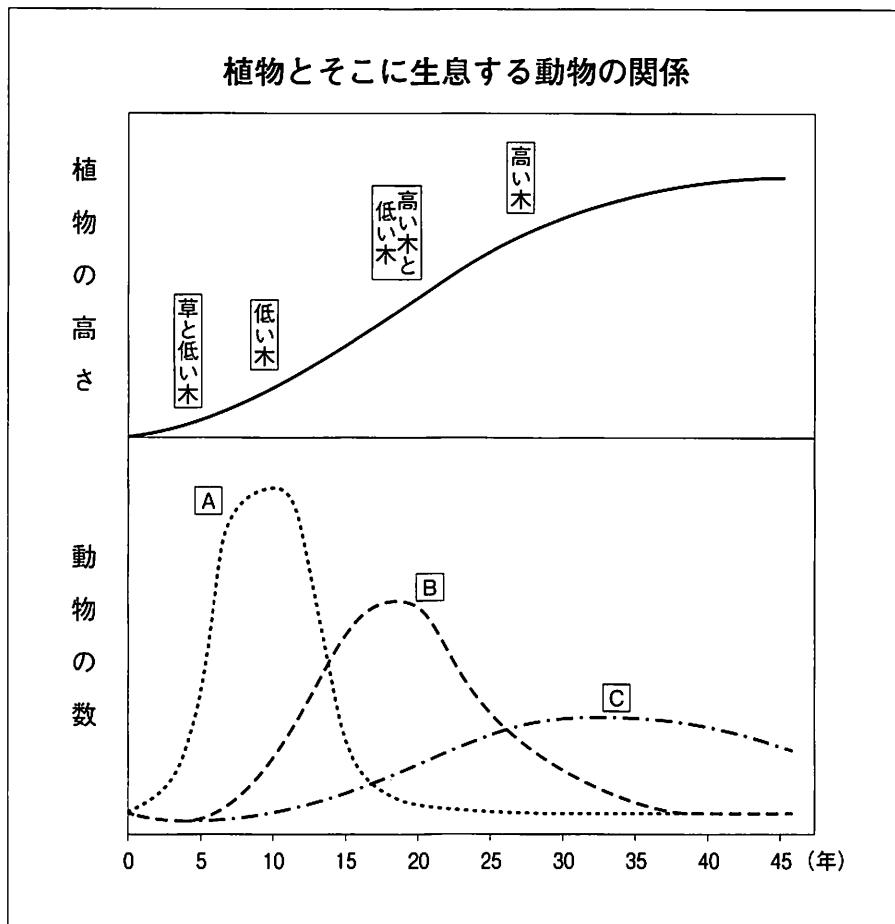
(井上隆二他『社会心理学』ナツメ社 を参考に作成)

1. 仕事を期限までに仕上げさせる。
2. 目標の設定を各メンバーに任せる。
3. メンバーの個性を尊重する。
4. 人間関係を調整する。

7番

先生が、生物学の授業で話しています。この先生の話によると、グラフにあてはまる正しい動物の組み合わせはどれですか。

7



(宮下和喜『絶滅の生態学 増補新装版』思索社 を参考に作成)

1. A : クマ B : クロオジカ C : オオシカ
2. A : クロオジカ B : オオシカ C : クマ
3. A : クマ B : オオシカ C : クロオジカ
4. A : オオシカ B : クロオジカ C : クマ

8番

男子学生が授業で二つの市の「市政に対する要望」について発表しています。この男子学生が注目し、詳しく調べたのは、どの要望に関することですか。

8

市政に対する要望

	A市		B市	
	去年	今年	去年	今年
1位	高齢者	高齢者	高齢者	治安
2位	医療	医療	医療	高齢者
3位	治安	治安	治安	医療
4位	福祉	少子化	環境	環境
5位	環境	教育	教育	教育

1. 高齢者福祉
2. 医療の充実
3. 少子化対策
4. 教育の充実

9番

幼児教育を専攻している女子学生と男子学生が、資料を見ながら話しています。二人が参考にするのはどのおもちゃですか。

9

1.



つまみを引いて、ケースの中の
魚や亀を浮き上がらせる。

2.



プラスチックの容器に通してある
ロープを引く。

3.



力いっぱいロープを引いて、袋を持ち上げる。

4.



厚紙にクリップをつける。

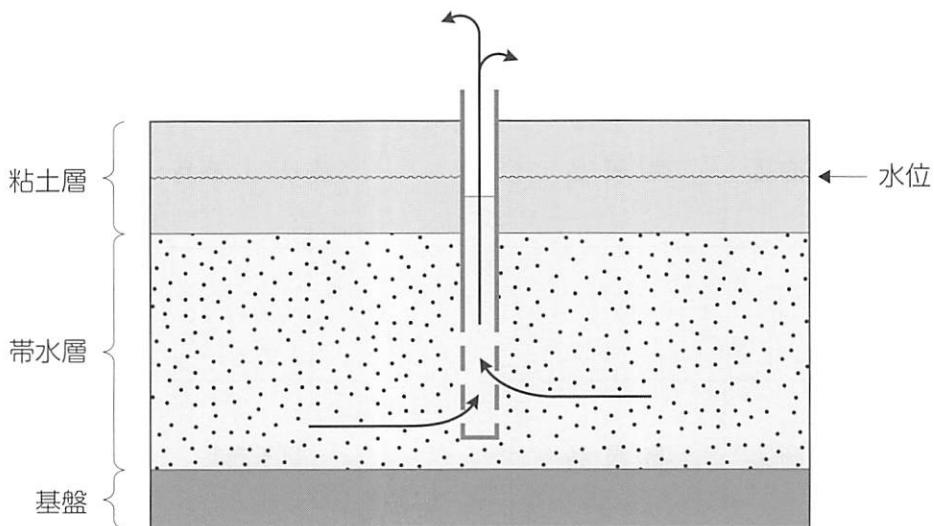
(相良敦子『お母さんの「敏感期」』文藝春秋 を参考に作成)

10番

先生が授業で、地盤沈下について話しています。この先生が話している場所で、地下水のくみあげによって主に縮む地層はどれですか。

10

地下水のくみあげと地盤沈下のメカニズム



(守田優『地下水は語る』岩波書店 を参考に作成)

1. 粘土層
2. 帯水層
3. 基盤
4. 粘土層と帶水層

11番

先生が授業で、広告用のチラシのレイアウトについて話しています。この先生の話を図で表すと、どのようにになりますか。

11

1.

目玉商品	定番商品
売りたい商品	高級品

2.

定番商品	目玉商品
売りたい商品	高級品

3.

売りたい商品	高級品
目玉商品	定番商品

4.

目玉商品	定番商品
高級品	売りたい商品

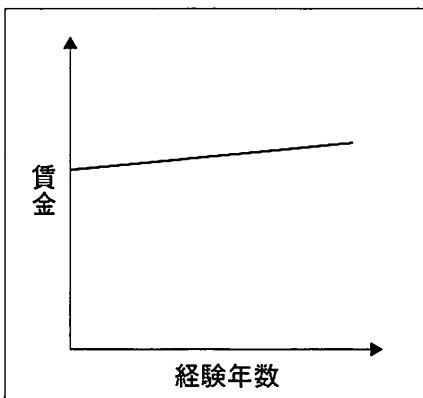
(新山勝利『売れる商品陳列マニュアル』日本能率協会マネジメントセンター を参考に作成)

12番

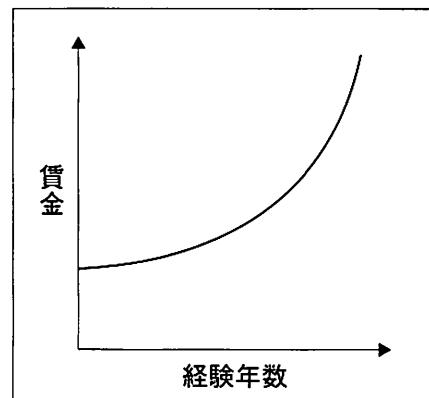
先生が、職人の賃金について話しています。この先生の説明を図で表すと、どうなりますか。

12

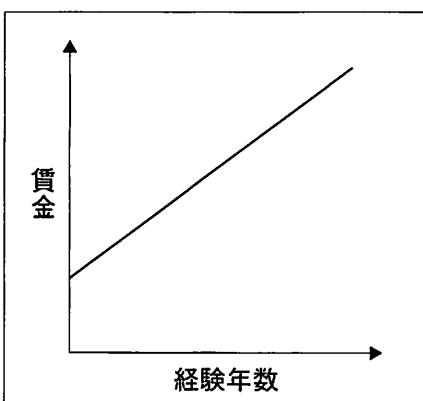
1.



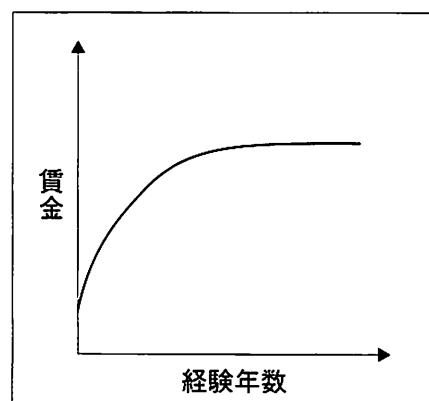
2.



3.



4.



(原田多加司『職人暮らし』筑摩書房 を参考に作成)

—— このページには問題はありません。 ——

聴解問題

説明

聴解問題は、音声を聴いて答える問題です。問題も選択肢もすべて音声で示されます。問題冊子には、何も書かれていません。

問題は一度しか聴けません。

このページのあとに、メモ用のページが3ページあります。音声を聴きながらメモをとるのに使ってもいいです。

聴解の解答欄には、『正しい』という欄と『正しくない』という欄があります。選択肢1, 2, 3, 4の一つ一つを聴くごとに、正しいか正しくないか、マークしてください。正しい答えは一つです。

一度、練習をします。

この問題冊子を持ち帰ることはできません。

- × モ -

④ 聴読解問題スクリプト

Track 4

練習 学生がコンピュータの画面を見ながら先生の説明を聞いています。学生は今、画面のどの項目を選べばいいですか。

えー、これから、この大学のコンピュータの使い方について説明します。では、コンピュータの画面を見てください。今日は、大まかな説明しかしませんが、もっと詳しいことを知りたい人は、右上の「利用の仕方」などを見ておいてください。ああ、今じゃなくて、あとで。あとで見ておいてください。今日はまず、コンピュータを使えるようにするために、利用者の登録をします。では、画面の左下の項目を選んでください。

Track 6

1番 先生が、ハエトリグサという植物について話しています。この先生の話によると、ハエトリグサは図のどの部分で、えさとなる昆虫の大きさを識別していますか。

ハエトリグサは、夜になると虫を捕えて食べる植物、いわゆる食虫植物になります。図を見てください。Dの部分がちょうどつがいになっていて、ここを中心軸として両側の2枚の葉が開いたり閉じたりします。葉のふちにはAのような長いとげがあります。葉の内側、Bの部分はピンク色をしており、蜜を分泌しています。その表面にはCのような毛が数本生えています。そして、蜜にひかれてやってきた昆虫が毛に触れると、一瞬で葉を閉じます。そうして昆虫をはさみ、ふちのとげでふたをして閉じ込めるのですが、1本の毛に触れただけでは葉は閉じません。20秒ぐらいの間に2本以上の毛に触れると、獲物が適切な大きさだと判断して、葉を閉じるのです。昆虫が小さすぎると、葉を閉じても、とげのすきまから逃げてしまいますからね。

Track 7

2番 先生が、若い労働者に対する支援策について説明しています。この先生がこのあと具体的に説明するのは、どの対策についてですか。

若い労働者を支援していくためには、国がさまざまな対策を検討しなければなりません。同じ職場で何十年も働き、賃金も働いた年数に応じて増えていくのが当たり前だった時代とはちがい、短期雇用が増えている現在では、賃金体系そのものの見直しが必要です。また、成人した若者が親元を離れても生活できるように住宅手当を支給したり、幼い子供がいても働けるような環境を整備したりすることも、もちろん必要です。しかし、若者に対してまず必要なのは、働く意義や自分の適性について考えるために、実際に体験できる場を提供することです。数ある仕事の中から、自分に適した仕事を見つけるのは実に難しい

ものです。若者が迷ったり、失敗したりしてやり直すことがあるのは当然なのです。では、そのためにどのような対策が必要か、具体的に説明したいと思います。

Track 8

3番 先生が、子供のものの見方の発達について話しています。この先生が最後にする質問の答えはどれですか。

子供は、年齢が上がるとともにもの見方も発達します。そのことは、次のような実験で確かめることができます。

まず、1メートル四方の正方形の中に、図のような大きさの違う山を三つおきます。そして、子供をAの席に座らせます。この状況で、Dの席に人形をおいて、子供に「人形から見えている風景はどれですか」と聞いて、A、B、C、Dそれぞれの場所から見える風景を描いた絵から選ばせます。

すると、2歳から7歳までの子供の多くは、自分自身が見ている風景と似た絵を選んでしまいますが、7歳から11歳ぐらいになると、他の人からは山がどう見えるのか、複雑な関係を同時に考えられるようになり、正しい絵を選ぶことができるようになります。

それでは、例えば3歳の子供たちに、「人形から見えるのはどんな風景ですか」と聞いたら、どこから見える風景の絵を選ぶ子供が多いと思われますか。

Track 9

4番 女子学生と男子学生が、サークル交流会のプログラムについて相談しています。この二人は、プログラムのどの部分を短くすることにしましたか。

女子学生：このプログラムの案だけど、活動報告はもうちょっと時間をとったほうがいいんじゃない？

男子学生：ああ、確かに。今回の交流会の目的は、それぞれの活動の概要を知ることだからね。でも、そうすると、7時半に終わらなくなっちゃうなあ。

女子学生：じゃあ、どれか時間を削る？

男子学生：うん。だけど、パーティーはみんなが楽しみにしてるから、時間、削りにくいやね。

女子学生：んー。んじゃ、メンバー一人ひとりの紹介は簡単にし、パーティーのときに詳しくやってもらおうってことにしたら？

男子学生：ああ、そうだね。あと、活動予定についての時間はどうかなあ。

女子学生：それはこのままでいいんじゃない？

男子学生：オーケー。じゃあ、案を作り直してみるよ。

Track 10

5番 先生が、食品の保存方法について話しています。この先生がこれから具体的に話すと言っているのは、表のどの方法についてですか。

現在では、食品を保存するために冷蔵庫が使われますが、冷蔵庫がなかったころはどうしていたのでしょうか。表を見てください。

食品が腐る原因は微生物です。といっても、微生物には人間にとってよい働きをしてくれる微生物と、悪いことをする微生物があり、食品を腐らせるのは悪い微生物です。そこで、冷蔵庫がなかった時代には、悪い微生物が増えたり育ったりしないように、食品を乾燥させたり、塩や砂糖で漬けたり、食品に灰をかけたりしました。他にも、食品を発酵させるよい微生物を使って、悪い微生物が食品に近寄らないようにするという方法も使われました。また、煙や木の葉を使って、悪い微生物の侵入や増殖を防ぐという方法もありました。

これらの中でも、日本では特に、人間にあってよい働きをする微生物がよく利用されてきました。日本の伝統的な調味料や保存食は、豆や米などに、このような微生物を混ぜて作られます。それでは、今からこの方法について、具体例を見ていきましょう。

Track 11

6番 社会心理学の授業で、先生がリーダーの四つのタイプについて説明しています。この先生の質問に対する答えはどれですか。

集団を率いるリーダーには二つの種類の行動が求められるという考え方があります。一つはグループのメンバーに対して課題をやり遂げるよう促す行動で、これを「目標達成行動」と呼びます。例えば、時間内に仕事が終わるように要求するといった行動はこれにあたります。もう一つは、メンバー間の人間関係に配慮し、グループとしての結束を保つための行動で、これを「関係維持行動」と言います。例えば、部下を公平に扱うというようなことです。この二つの行動からリーダーのタイプを類型化したものがこの図です。この図では、Aタイプのリーダーが最も望ましく、Dタイプが最も劣ると言えます。

では、質問です。あるリーダーが、Bタイプだったとします。この場合、この人がよりよいリーダーになるためには、例えばどんな行動をとればいいでしょうか。

Track 12

7番 先生が、生物学の授業で話しています。この先生の話によると、グラフにあてはまる正しい動物の組み合わせはどれですか。

植物が生長し、森林ができるまでには、そこに生息する動物の種類や数にも変化があります。

このグラフは、森林が火で焼き尽くされてから、そこに再び森林ができるまでの様子を表しています。グラフの横軸は、森林が焼けてからの年数を示していて、上のグラフの縦軸は、植物群の平均的な高さ、下のグラフの縦軸は、動物の数を示しています。森が焼けた直後は、草も木も育っていませんが、それから数十年経つと、高い木の立ち並ぶ森林となります。そのような森林にはクマが生息しています。しかし、そこに至る前の段階では、クマよりシカ類が多く棲んでいます。森が焼けたあと、まず草が生え、続いて低い木が生長すると、そのような環境を好むクロオジカが数を増やします。その後、背の高い樹木が育ち始め、低木と高木の混在する環境になると、クロオジカは急に減り、オオシカが増えます。しかし、高い木ばかりの環境になると、オオシカは減っていきます。

Track 13

8番 男子学生が授業で二つの市の「市政に対する要望」について発表しています。この男子学生が注目し、詳しく調べたのは、どの要望に関することですか。

では、資料を見てください。この「市政に対する要望」という世論調査は毎年、行われていますが、ここでは私たちの住むA市の要望と、参考として隣のB市の要望を示しました。これを見るとA市の市民もB市の市民も「高齢者福祉」と「医療体制」の充実を毎年強く望んでいるということがわかります。しかし、A市では今年になって、B市には見られない「少子化対策」の要望が浮上してきました。

私は、A市もB市も地方都市としては似たような市だと思っていたのですが、なぜこのような違いがあるのか疑問に思いました。そこで、2つの市の世代別の人口を調べてみたところ、A市はB市よりも65歳以上の高齢者数の割合が大きく、逆に15歳未満の子供の割合が小さいということがわかりました。それでB市よりも深刻な問題として考えられているのではないかと思います。また、「教育」問題が同時に上位に入ったのも、これに関連していると思われます。

Track 14

9番 幼児教育を専攻している女子学生と男子学生が、資料を見ながら話しています。二人が参考にするのはどのおもちゃですか。

女子学生：幼児教育の課題、どんなのを作ろうか？

男子学生：作るのは、はさみを使うときの手の動きを訓練するおもちゃだよね。ってことは、握る力を強くするもの？

女子学生：うん。ねえ、この資料にあるおもちゃを参考にしない？

男子学生：へえ、いろいろあるね。こんなふうに、ロープをつかんで重い物を引っ張り上げるのはどう？　あ、こっちは容器からロープを引いても引いても終わりがなくて、子供は楽しいかもしれないよ。

女子学生：そうだね。……でも、はさみを使うときって、指先の力も必要じゃない？
男子学生：ううん、指先かあ。これは、指でつまみを引いて、糸の先についた亀や魚を動かすんだよね。
女子学生：うん、かわいいね。でも、力はあまり必要なさそう。あ、こっちは紙につけるときに指先の力が必要じゃない？
男子学生：そうだね。だけど、このままだと楽しく遊べるおもちゃに見えないなあ。
女子学生：じゃ、これを参考にして、子供の興味をひくような工夫を加えて作ってみない？
男子学生：いいねえ。そうしよう。

Track 15

10番 先生が授業で、地盤沈下について話しています。この先生が話している場所で、地下水のくみあげによって主に縮む地層はどれですか。

この図は、地下水と地層を示したものです。これから、地下水のくみあげによって土地の高さが下がってしまう現象、いわゆる「地盤沈下」について、図のような地層の場所を例に説明しましょう。

まず、この場所では、地面のすぐ下に「粘土層」があり、その下には「帶水層」があります。帶水層は、砂や細かい石からなり、その隙間全体が地下水で満たされています。さらにその帶水層を支えるのが基盤です。基盤は堅く、水をほとんど通さない地層です。地下の水位は帶水層と粘土層との境目よりも上にあります。井戸からポンプを使って地下水のくみあげを続けると、地下水位が低下し、水分の多い帶水層の圧力が低くなります。そうすると、水は上の粘土層から帶水層へ向けて流れていきます。砂や細かい石でできている地層はほとんど縮みませんが、水が絞りだされた地層は縮んでしまい、その分だけ地盤が沈下するのです。

Track 16

11番 先生が授業で、広告用のチラシのレイアウトについて話しています。この先生の話を図で表すと、どのようにになりますか。

人間の視線は左から右へ、そして上から下へ移るのが一般的だと言われています。二段の棚があった場合、視線は上の段の左から右へ、次に下の段の左から右へ動きます。広告用のチラシを見る場合にも、視線は同様に動くものと考えられます。では、一枚のチラシを上下左右の四つのブロックに分けた場合、どの場所にどのような商品を載せれば集客につながるか、具体的に考えていきましょう。まず、最初に目が行くブロックには、安い目玉商品や特売品などを載せて、消費者の心をひきつけます。次に視線が向くブロックには定番商品を、その次のブロックには店側が売りたい商品を載せます。そして最後に視線が向くブロックには、いつも買っている商品と比べてもらえるように、付加価値のある高級

な商品を載せると、消費者への提案として効果的です。

Track 17

12番 先生が、職人の賃金について話しています。この先生の説明を図で表すと、どうなりますか。

最近、建築やものづくりに関する技能を身につけ、それを職業とする人、すなわち職人を目指す人が増えています。しかし、技術があれば一生困らないだろうとか、会社に勤めるより収入がいいだろうと考えて職人を目指した人の中には、実際にやってみて、自分のイメージと現実とのギャップに気づいて辞めていく人もたくさんいます。普通、職人は10年ぐらい修行を積むと一人前になりますが、経験年数が増えるにつれて賃金がそれなりに上がっていくタイプの仕事とは違い、職人の賃金は一人前になると、それ以上、上がるこことはありません。最初のうちこそ、修行を積むにしたがって急増しますが、それは一人前になるまでの間なのです。

◎ 聴解問題スクリプト

Track 20

練習 女子学生と男子学生が、山田さんとの待ち合わせについて話しています。この二人はこれからどうしますか。

女子学生：山田さんに電話した？

男子学生：うん。

女子学生：何だって？

男子学生：急用ができたから、ちょっと遅れるって。待ってるって言ったんだけど、先に行ってくれって。

女子学生：じゃ、そうする？ でも、山田さん、研究会の場所、知ってるのかな？

男子学生：どうだろう？

女子学生：また、電話してみたら？

男子学生：いや、大丈夫だよ。先にどうぞって言ったんだから。

女子学生：そう言ったのなら、大丈夫ね。

この二人はこれからどうしますか。

1. 山田さんを待ってから行く。
2. 山田さんに先に行ってもらう。
3. 山田さんに電話をする。
4. 山田さんより先に行く。

Track 22

13番 男子学生と女子学生が本の読み方について話しています。この女子学生は、これから、どのように本を読みますか。

男子学生：ずいぶん分厚い本を読んでるね。

女子学生：あ、先輩。先生から読んでおくようになって紹介された本なんです。

男子学生：へえ、大変そうだなあ。

女子学生：ええ、一日にたくさんは読めないから、読む時間を決めて毎日少しづつ読むようにしてるんですけど、途中で挫折しちゃいそうで……。

男子学生：ああ、最後まで読めないってこと、あるよね。

女子学生：はい。でも、後ろのほうにまとめとか大事なことが書いてあるかもしれないし。

男子学生：そうだね。だから僕は、まずははじめに全体をざっと見て、大切だと思うところから先に読むようにしているよ。

女子学生：へえ、本は最初から読み進めなくちゃいけないと思っていたから、そういう読み方って考えたことがなかったです。

男子学生：どこが大切なのか優先順位をつけるのも、意外に勉強になるよ。

女子学生：じゃ、私もこれからその方法で読んでみます。

この女子学生は、これから、どのように本を読みますか。

1. 毎日少しづつ読み進める。
2. 一日に読む量を増やす。
3. 後ろから読み始める。
4. 重要なところから読む。

(Track 23)

14番 先生が、生物学の授業で、都会の公園について話しています。この先生は、都会の公園をどのようにしたほうがいいと言っていますか。

緑が少ない都会において、公園は私たち人間にとて心地よい空間ですが、同時に昆虫など小さな生き物のすみかとしても大切な場所です。きれいに手入れされた木と芝生のある公園もいいかもしれません、そこをすみかとする生き物は種類が限られます。そこで私は、公園の一部だけでもいいので、枯れ木や枯れ枝、落ち葉などをそのまま放置しておけないかと考えています。都会の公園では、元気な木だけを残して、枯れ木や落ち葉を危険だと汚いという理由で片付けてしまうことが多いですね。しかし、人間にとては汚く見える枯れ木や落ち葉も、そこをすみかとする生物にとっては大切な環境なのです。そのような環境があれば、より多くの種類の虫やそれをえさとする小動物が増えるでしょう。

この先生は、都会の公園をどのようにしたほうがいいと言っていますか。

1. たくさんの種類の木を植える。
2. 芝生の手入れをきちんとする。
3. 都会でも育つ元気な木を植える。
4. 枯れ木などを少し残しておく。

(Track 24)

15番 アナウンサーと女性が、照明デザインという仕事について話しています。この女性が、デザインをするときに気をつけているのはどんなことですか。

アナウンサー：照明デザインというお仕事についてお聞かせ下さい。

女性：照明というと夜つける明かりをイメージする人が多いかもしれません、昼間でも照明が必要なところもありますよね。

アナウンサー：例えば、お店やホテルなどですか。

女性：はい。ただ照らすだけではなくて、商品をよりよく見せたり、お客様が楽しい気持ちになるような照明をつくります。

アナウンサー：省エネが求められる時代なのに、昼間の照明なんて無駄だと言われたりしませんか。

女性：そうですね。地球環境への負担を最小限におさえて、いかに効果的に照らすかを考えなくてはいけません。ですから、どんなに美しい照明をデザインしているときであっても、このことは忘れないようにしています。

この女性が、デザインをするときに気をつけているのはどなたですか。

1. 店やホテルの客がまぶしく感じないようにすること
2. 商品がよく見えるように明るく照明をあてること
3. できるだけ少ないエネルギーで効果的な照明にすること
4. できるだけ多くの色の照明を使うこと

Track 25

16番 心理学の専門家が、人に与える印象について話しています。この専門家は、初めて人に会うとき、相手にいい印象をもってもらうためには、どうしたらいいと言っていますか。

いい人間関係を作るためには、相手と初めて会ったときに、いい印象をもってもらうことが大切です。だれでも、人に初めて会うときは不安で、相手のことをよく知りたいと思っていますから、そのときの印象は強く心に残るものなのです。

では、最初にいい印象をもってもらうためには、どうすればいいのでしょうか。人が相手から受け取る情報は、言語のように耳から入ってくるものよりも、目から入ってくるものほうが多いということがわかっています。ですから、何をどんなふうに言うか、ということよりも、背筋を伸ばして立っていることや笑顔でいることなどが重要なのです。

この専門家は、初めて人に会うとき、相手にいい印象をもってもらうためには、どうしたらいいと言っていますか。

1. 言葉の使い方に気をつける。
2. 面白い話題を選ぶ。
3. 態度や表情に気をつける。
4. 大きな声で笑う。

Track 26

17番 男子学生と女子学生が、心理学の授業で取りあげられた問題について話しています。この男子学生は、この問題に誤った答えを出す人が多いのはなぜだと言っていますか。

男子学生：ねえ、英語の単語で、Kから始まる単語と、三番目にKがくる単語とどっちが多いと思う？

女子学生：え、そうだなあ、Kからはじまる単語じゃない。

男子学生：残念。三番目にKがくる単語のほうがずっと多いんだよ。

女子学生：そっか……。私、英語は苦手なんだよね……。

男子学生：実は、心理学の授業でこの問題をやったんだけど、クラスのほとんどが君と同じ答えだったんだよ。

女子学生：ああ、周りの学生の答えに左右された人が多かったのかもね。それに、心理学の授業で突然英語の問題が出たら、なかなか冷静に考えられないんじゃないかな。

男子学生：まあね。でも、この問題、英語が母国語の人にとっても、答えは同じなんだって。Kが最初に来る単語は簡単に思い出せるけど、三番目に来る単語を思い出すのって難しいだろう？ 結局、思い出した単語の数だけで判断して誤った答えを出してしまうようだよ。

女子学生：へえ、なるほどね。

この男子学生は、この問題に誤った答えを出す人が多いのはなぜだと言っていますか。

1. 外国語では正しい判断ができないから
2. 周りの人の答えに影響されてしまうから
3. 予期しない問題には冷静に判断できないから
4. すぐに思いつく手がかりに頼って判断するから

(Track 27)

18番 先生が、生物学の授業で、魚が自分の身を守る方法について話しています。この先生は、魚が敵に見つかりにくいのはどうしてだと言っていますか。

海にいる小さな魚は、大きな他の生き物に食べられます。ですから、小さな魚には、それを逃れる工夫がいろいろ見られます。

例えば、海の中でも比較的浅いところを泳ぐ魚の場合、お腹が白っぽくなっています。これは、深いところにいる魚が、海の中から上を見たとき、水面がキラキラ白く輝いて見えるのに合わせているのです。また、空から見た場合にも、目立たないように、背中が海の色に合わせて青っぽくなっています。魚の敵は水中だけにいるとは限らないので、空から魚をねらう鳥に見つかりにくくしているのです。

この先生は、魚が敵に見つかりにくいのはどうしてだと言っていますか。

1. 海の浅いところを泳いでいるから
2. 敵によって見せる体の向きを変えているから
3. 敵が近づくと体の色が変わるから
4. 体の色が周りの色と同じように見えるから

19番 先生が、新聞を読むことの効果について話しています。この先生が、新聞を読むよう勧める一番の理由は何ですか。

「レポートをうまくまとめられない」とか「プレゼンテーションが苦手で困っている」という声を聞くことがあります。そんなとき、私は「新聞に目を通しなさい」とこたえています。新聞を読むことによる最もわかりやすい効果は、漢字の熟語や抽象的な言葉が知らず知らずのうちに習得できるということです。レポートやプレゼンテーションなどの文章で使われるのは、日常会話ではあまり触れることのない、こうした言葉です。本を読むことが好きな人も多いかもしれません、小説などの文学作品には、実はこうした言葉はあまり出てきません。新聞が最適な教材なのです。

インターネットを使えば、さまざまな分野の情報を簡単に探せる時代ですが、レポートやプレゼンテーションの上達への近道は、「新聞の記事に毎日目を通す」という一見地味な方法なのだということを覚えておいてください。

この先生が、新聞を読むように勧める一番の理由は何ですか。

1. さまざまな分野の情報を簡単に探せるから
2. 文章作成に役立つ語彙を学べるから
3. 文学作品の理解が深まるから
4. 日常会話の話題が増えるから

20番 男子学生と女子学生が、あるウェブサイトについて話しています。この男子学生は、このウェブサイトのどんなところがいいと言っていますか。

男子学生：ちょっと便利なウェブサイトを見つけたんだ。質問を打ち込むと、それについてよく知っている人が、例えば、「このサイトを見るといいよ」って教えてくれるんだよ。

女子学生：へえ、それって無料なの？

男子学生：いや、少しお金がかかるんだ。

女子学生：じゃあ、だれでも利用できる検索用のウェブサイトに、キーワードを入れて自分で調べたほうがいいんじゃない。

男子学生：でも、それだと、自分が知りたいことと全然関係がないものも出てくるときがあるよね。どれを見たらいいかわからないってことも多いと思わない？

女子学生：そうか。でも、教えてもらった情報が信用できるかどうかはわからないよね。

男子学生：うん、それは、自分で判断しないとね。

この男子学生は、このウェブサイトのどんなところがいいと言っていますか。

1. 回答者を指定できるところ
2. お金をかける必要がないところ
3. ほしい情報がどこにあるかわかるところ
4. 信頼できる情報が得られるところ

Track 30

21番 先生が、ある会社が製造、販売したパソコンについて話しています。この先生は、この会社のパソコンの特徴は何だと言っていますか。

現在、ある会社のパソコンが日本やアメリカなどの先進国で売り上げを伸ばしています。しかし、実は、このパソコンは元々そのような国での販売を目的としたものではなかったのです。

この会社がパソコンの製造、販売を始めた当初、先進国のパソコン市場では、すでに高度な機能が備わったさまざまなパソコンが販売されており、この会社が市場に入る余地はほとんどありませんでした。そこで、発展途上国の市場に向けて製品を販売することにしたのですが、それにあたって、高度な機能を省き、古い型の部品を使うことで、従来のものに比べて低価格のパソコンを製造し、販売しました。このパソコンが、結果的に「気軽に使える二台目のパソコンがほしい」という消費者の多い先進国から大きな需要を得ることになったのです。

この先生は、この会社のパソコンの特徴は何だと言っていますか。

1. 最新の部品や機能を備えている。
2. 機能を限定し、価格を抑えている。
3. 発展途上国だけで販売されている。
4. 他の会社と共同で製造されている。

Track 31

22番 記者が、研究者に、砂漠の緑化について質問しています。この研究者が行っているのは、何を知るための研究ですか。

記者：砂漠に植物を増やす、緑化の問題は、いろいろな分野の専門家がチームを作って取り組んでいらっしゃるそうですね。

研究者：はい。私のチームは、地球上の水の循環や気候条件を解析しています。

記者：その研究は、緑化とどんな関係があるんですか。

研究者：砂漠に植物を植えても、雨が降らなければ、植物は枯れてしまいます。そこで、砂漠の気候を解析したところ、湿度の高い空気が流れ込んでいる地域があることがわかりました。そういうところに木を植えて森を作れば、森から蒸発する水分によって上空の空気がますます湿気を帯びるので、自然に雨雲ができ、雨が降る

ようになるのではないかと考えています。これから、この点を実証していきたいと思います。

記者：砂漠にただ木を植えればいい、というわけではないんですね。

研究者：ええ、緑を保つことができるしくみが必要なんです。

この研究者が行っているのは、何を知るための研究ですか。

1. 砂漠に植物が増えるスピード
2. 砂漠ができていく原因
3. 砂漠に適した植物の種類
4. 砂漠で木を植えるのに適した場所

Track 32

23番 建築の専門家が、家を建てるときの注意点について話しています。この専門家が最も言いたいことは何ですか。

日本では、家を建てる際に接着剤や合板を使用することが多いですが、そこに含まれる化学物質が原因でアレルギー症状など、体の不調を起こすことがあります。最近、こういった化学物質を含む素材を用いず自然のものを使えば、住む人にも環境にも優しいと考え、天然の素材に注目する人が増えています。自然、天然と聞くと安全というイメージを持ちますよね。しかし実際は、自然の材料からもさまざまな物質が放出されています。人によっては、その天然由来の物質にも反応することがあります。このことを知らなかつたばかりに、せっかく天然の素材を使って家を建てたのに、アレルギーの症状が出てしまうことがあるのです。新しく建てた家が、悩みの種にならないよう、こういう点にも注意しなくてはいけません。

この専門家が最も言いたいことは何ですか。

1. 天然の素材はアレルギーの原因にはならないこと
2. 天然の素材はアレルギーの原因になり得ること
3. 化学物質はアレルギーの原因にはならないこと
4. 化学物質はアレルギーの原因になり得ること

Track 33

24番 先生が、植物学の授業で、ある二種類の植物について説明しています。この先生の話によると、セイタカアワダチソウという草が一度増えたあとに減るのはどうですか。

日本では空き地や川原に、ススキという草がよく見られますが、最近では、新しく外国から入ってきたセイタカアワダチソウという草もよく見られるようになりました。この草

には、根から、周りの植物の生長を抑える物質を出すという特徴があります。そのため、ススキの生えているところに、セイタカアワダチソウが入り込むと、ススキが減っていくのに対し、セイタカアワダチソウは増えて広がります。しかし、一度この草が増えると、植物の生長を抑える物質が土の中にたまっていきます。それが一定の量を超えると、今度はこの草自身の生長のスピードを遅らせて、数を減らしてしまうことにもなるのです。

この先生の話によると、セイタカアワダチソウという草が一度増えたあとに減るのはどうしてですか。

1. ススキに邪魔をされて、生長が止まるから
2. 自分自身が出す物質によって、生長が妨げられるから
3. 日本の環境に適応して、生長のスピードが遅くなるから
4. 生長に必要な土の中の栄養分が足りなくなるから

(Track 34)

25番 先生が、新しく開発されたガラスについて話しています。この先生は、新しいガラスを携帯電話の画面に使用した場合、どのような効果が期待できると言っていますか。

普段よく目にする透明なガラスは、どんなにきれいに磨かれていても、そこにガラスがあるということを認識できますよね。これは、ガラスが光を反射しているためです。ガラスの向こう側が暗く、こちら側が明るいと、ガラスに自分の顔や周りの景色が映って、向こう側にあるものが見えにくくなります。皆さんも、携帯電話の画面やパソコンのディスプレイなどの文字が光の反射で読みにくくなった経験があると思います。

しかし最近、新しいガラスが開発されました。通常のガラスの反射率が4%なのに対し、この新しいガラスの反射率は0.08%です。光の反射率が低いと、どの角度から見てもガラスの存在がわからなくなります。そのため、この技術は、美術館の展示ケースや携帯電話の画面などへの応用が期待されています。

この先生は、新しいガラスを携帯電話の画面に使用した場合、どのような効果が期待できると言っていますか。

1. 画面の反射による文字の読みにくさが軽減される。
2. 画面に傷が入ったり割れたりする心配がない。
3. ガラスの重さを感じなくなり携帯電話が軽くなる。
4. 周囲から画面が見えにくくなりプライバシーを守れる。

(Track 35)

26番 先生が、子供に対するスポーツの指導方法について話しています。この先生が最後に挙げる例の場合、指導者は子供にどのように言うのがいいですか。

子供に対するスポーツの指導方法はいろいろありますが、目標を達成させるまでの時間の長さによって、どのように導くかを変える方法があります。もし短期的に子供の能力を伸ばしたければ、しかるのが一番効果的です。もう少し長い目で成長を促したい場合、つまり中期的に考えるなら、しかるよりほめたほうが、子供が気分よく練習や努力を続けることができ、その結果、能力も伸ばすことができます。そして、将来を見据えて、長期的な展望で指導を考える場合には、しかることもほめることもせず、自分で目標を設定させ、それを守らせるのがいいでしょう。

では、スイミングスクールで、25メートル泳ぐことができた子供について考えてみましょう。この子供の能力を中期的に伸ばしたいと思ったら、指導者は子供に対してどのように言うのがいいでしょうか。

この先生が最後に挙げる例の場合、指導者は子供にどのように言うのがいいですか。

1. まだ25メートルしか泳げないのか。
2. 25メートルも泳げるようになったなんて、すごいな。
3. 何メートル泳げるようになりたいんだ？
4. 水泳選手になってオリンピックに出ることを目標にしなさい。

Track 36

27番 先生が、動物の群れの行動について説明しています。この先生は、トリやサルなどの群れが一斉に天敵に姿を見せるのはどうしてだと言っていますか。

トリやサルなどの群れが森の中で、天敵となる危険な動物に出合ったとき、どんな行動をとると思いますか。見つからないように急いで隠れると考える人が多いかもしれません、実は反対に、群れで一斉に姿を見せ、相手の前で大騒ぎすることのほうが多いのです。一見、捕まる危険性が高い無謀な行為のように見えるかもしれませんが、どうやらそんなことはないようです。実は獲物を襲う側にとっては、特定の個体にねらいを定め、見つからないようにそっと近づいて、一気に攻撃する方が集中力を持続できるので、楽なのです。獲物がここにもいる、あそこにもいる、という状況になると、的が絞れなくなってしまい、結局は襲うことをあきらめてしまうようです。襲われる側は、そうした習性を知っているんですね。

この先生は、トリやサルなどの群れが一斉に天敵に姿を見せるのはどうしてだと言っていますか。

1. 集団で天敵に襲いかかるため
2. 獲物ではないと天敵に思わせるため
3. 天敵を混乱させるため
4. 他の仲間に危険を知らせるため

平成26年度日本留学試験(第1回)試験問題 正解表 The Correct Answers

〈日本語〉 Japanese as a Foreign Language

記 述…問題解答例を349, 350ページに掲載

読解		
問	解答番号	正解
I	1	4
II	2	3
III	3	※
IV	4	1
V	5	3
VI	6	3
VII	7	2
VIII	8	4
IX	9	1
X	10	3
XI	問1	11
	問2	12
XII	問1	13
	問2	14
XIII	問1	15
	問2	16
XIV	問1	17
	問2	18
XV	問1	19
	問2	20
XVI	問1	21
	問2	22
XVII	問1	23
	問2	24
	問3	25

※ 問IIIの正解は掲載しません。

聴読解			聴解		
問	解答番号	正解	問	解答番号	正解
1番	1	3	13番	13	4
2番	2	3	14番	14	4
3番	3	1	15番	15	3
4番	4	1	16番	16	3
5番	5	4	17番	17	4
6番	6	1	18番	18	4
7番	7	2	19番	19	2
8番	8	3	20番	20	3
9番	9	4	21番	21	2
10番	10	1	22番	22	4
11番	11	1	23番	23	2
12番	12	4	24番	24	2
			25番	25	1
			26番	26	2
			27番	27	3

「記述」問題解答例 ①

人は失敗を恐れ、成功を求める。確かに失敗は周りに迷惑をかけたりするため、悪いもの、恥ずかしいものと考えられやすい。一方成功は輝かしいものと歓迎される。

しかし、成功だけがよいものだろうか。成功への過程には必ず失敗があるのではないか。失敗のおかげで、別の道が見えたり、新たな考えが浮かんだりすることがある。長い目で見れば、失敗にこそ価値があると思う。

現代の若者は失敗を恐れ、自分からは行動を起こさないと言われている。たとえば、誰かのアドバイスや保証がなければ動かない等である。このような行動は失敗も生まないが革新的な何かを生み出すこともない。

「失敗は成功のもと」ということわざが示す通り、成功したければ、失敗を恐れてはいけない。さらに、社会全体として革新的な何かを生み出したいのなら、失敗を寛容に受け止める環境を整える必要もある。失敗が激しい批判の対象になるのであれば、新しいことに挑戦したくても、人はやはり失敗を恐れてしまうからだ。

失敗は悪いものではなく、革新的な何かを生み出すなど、成功につながる貴重な機会だという視点を忘れてはならない。

「記述」問題解答例 ②

これまで、私たちは、より効率的に物事を行うために技術を磨いてきた。たとえば、冷凍食品やレトルト食品、カップ麺といった加工食品は、手間をかけずに料理が用意できるので、料理が苦手な人や忙しい人にとて、とてもありがたいものだ。これらは、便利で効率的な生活を求める消費者の欲求に合うものを、メーカーが開発した成果だ。

しかし、はたして効率性を追求することは、よいことばかりなのだろうか。作り手の個性が表れた味わいや、昔から受け継がれてきた技術、文化が失われてしまふのではないか。

早く大量に、少ない手間で物事を成し遂げようとするあまりに、私たちの周りには、味わいや手触り、そして見た目も画一的なものがあふれていはないだろうか。また、じっくり物事を考えたり、語り合ったりする手間を惜しみ、結論だけを早く手にしようとするあまり、アイディアや意見が浅く薄っぺらなものになっているように思われる。

効率性を追求し過ぎることは、じっくりと物事に向き合い、成し遂げるための、身体的精神的持久力を奪うことにつながりかねないと思う。そのことを、私たちは認識する必要があるだろう。